

小児感染症の第7週(平成21年2月9日から平成21年2月15日)の集計結果

コメント

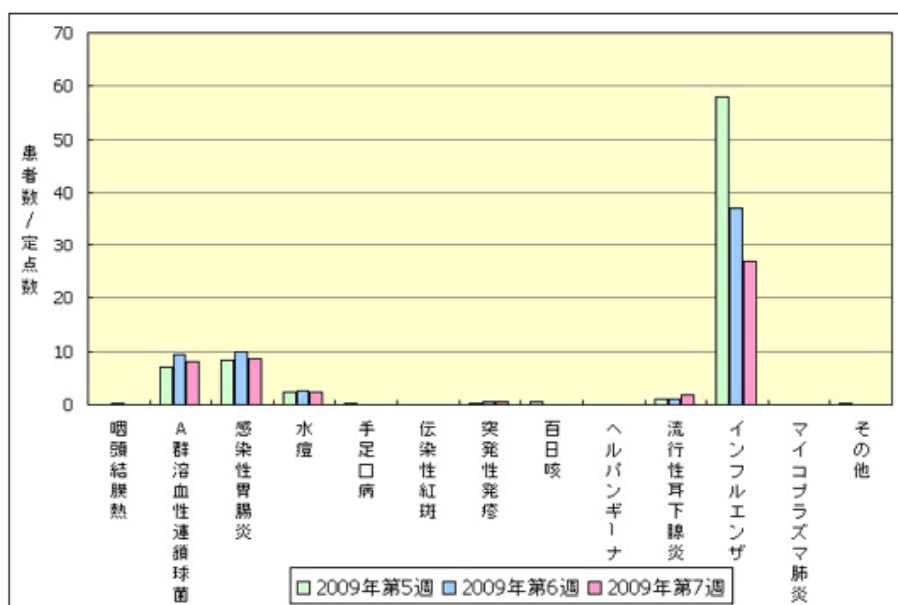
【今週の傾向】 今週は12定点からの報告です。

- インフルエンザの報告数は先週よりさらに減少し、学級閉鎖の状況からもピークは超えたと思われませんが、引き続き注意が必要です。
- インフルエンザはB型が84名、A型が238名で、先週に引き続きB型の割合が増えてきました。
- A群溶血性連鎖球菌は、先週非常に報告が多かった中央北部が減り、全体としても先週より減少していますが、西部とみなみ野では増加しており、引き続き注意が必要です。

▢ [対象疾患ごとの発生状況](#)

▢ [小児感染症週報](#)

▢ [風しん・麻しん発生状況](#)



第7週疾患毎発生状況グラフ

	2009年第2週	2009年第3週	2009年第4週	2009年第5週	2009年第6週	2009年第7週	中央北部	西部	東南部	みなみ野
咽頭結膜熱	9↑	0↓	1↑	1→	2↑	1↓	0	0	1	0
A群溶血性連鎖球菌	49↑	35↓	60↑	86↑	113↑	98↓	56	20	7	15
感染性胃腸炎	151↑	133↓	152↑	100↓	119↑	104↓	55	18	19	12
水痘	24↑	24→	19↓	27↑	30↑	29↓	13	10	5	1
手足口病	0↓	0→	0→	2↑	0↓	1↑	1	0	0	0
伝染性紅斑	0→	1↑	1→	0↓	0→	1↑	1	0	0	0
突発性発疹	5↑	7↑	14↑	4↓	6↑	6→	2	2	2	0
百日咳	0→	1↑	0↓	6↑	1↓	1→	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	0→	0→	1↑	1→	0↓	0→	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	11↑	5↓	9↑	13↑	12↓	23↑	15	3	2	3
インフルエンザ	129↑	276↑	770↑	696↓	444↓	322↓	74	72	120	56
マイコプラズマ肺炎	2↑	0↓	0→	1↑	0↓	1↑	0	0	0	1
その他	3↑	1↓	4↑	2↓	0↓	0→	0	0	0	0

第7週疾患毎発生状況表

第7週疾患毎発生状況表

	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
～11ヶ月	1	6	9	1	0	0	3	0	0	0	8	0	0
1歳	0	7	21	5	1	0	2	0	0	2	20	0	0
2歳	0	4	12	7	0	0	1	0	0	0	14	0	0
3歳	0	10	8	7	0	0	0	0	0	1	21	0	0
4歳	0	19	14	4	0	0	0	0	0	7	33	0	0
5歳	0	12	6	1	0	0	0	0	0	2	34	0	0
6歳	0	15	8	1	0	1	0	0	0	4	44	0	0
7歳	0	9	0	1	0	0	0	0	0	6	34	0	0
8歳	0	6	5	1	0	0	0	0	0	0	29	0	0
9歳	0	3	6	1	0	0	0	1	0	1	26	0	0
10～14歳	0	7	11	0	0	0	0	0	0	0	42	1	0
10～12歳											36		
13～14歳											6		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
20歳以上	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0
合計	1	98	104	29	1	1	6	1	0	23	322	1	0

第7週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所